

紹介します！

皆さんの写真や大切なもの、活躍している身近なものなども紹介できますので、お気軽にお寄せください。

申込み 秘書広報課 TEL557-7497

毎年夏になると、ボランティアの方々から提供されたユリの花が綺麗に咲き、6月下旬から7月上旬に見頃を迎えます。今年は約7千本が咲き、場所はエコパークの駐車場周辺です。写真のスカシユリは主に鮮やかな黄色の花で、ピンク色の花もあります。

開花状況についてはお問い合わせください。
問合せ リサイクルプラザ TEL557-5364



スカシユリ (6月16日撮影)

図書館が利用しやすくなりました



図書館の出入りにスロープと手すりを設置しました。図書館の出入りは階段があり、ベビーカーをご利用の方にご不便をおかけしていましたが、スロープを設置しましたので、気軽に図書館をご利用いただけます。また、1階にはキッズスペースもあり、親子で読書が楽しめます。どうぞご利用ください。

毎月(第1土曜日)、おはなしの会も開催しています。
問合せ 図書館 TEL557-5614

タイのテレビ局が瑞穂町を取材



6月19日、タイの全国地上波公共放送局(Thai PBS)が、瑞穂町の新規就農者の取材のために来日しました。

タイでは、日本と同様に農業の後継者不足の問題を抱えています。番組では、日本の若者が農家を目指し、努力の末、農家になるという夢を実現している点に注目し、その現場をタイの視聴者に紹介したいとのことでした。

タイの女性農業者にインタビューを受けた新規就農者は農家としての将来の夢などを熱く語りました。
問合せ 産業課 TEL557-7630

緑の首飾り

地球温暖化の危機が叫ばれて、歳月が過ぎていきます。私もMizuho, Clean&Green作戦は進めてはありますが、道半ばどころか出発点と言うところです。

このような心境の中から、目の前の横田基地に広がる平原が気になっておりました。父に聞いた話では1930年代迄のこの地には、平地林としての赤松林が続いていたそうです。今までは基地のフェンスのすぐ内側には、檜らしい並木がまばらに続いているのみでした。檜の並木の補植を行い、基地を廻る緑の首飾りを作ったらどうかと司令官に提案した事がありました。この事は、地球の為に、地域の為に悪からう筈ありません。緑化は基地のランドマークとしても有効で、イメージアップにも繋がります。この提案を横田基地ガラス・デラマター司令官に話しましたところ、



早速、檜100本程を取り寄せ、基地緑化を推進してくれました。完成すれば、遙か大気圏の真上から見下ろせば、檜1本1本が緑の珠になって基地を取巻き、大地に置いた首飾りとなることでしょう。地上に置かれた緑のロザリオは、平和を願う祈りにもなります。

思えば、私の父も基地内に桜の樹を植えています。30年以上前の話ですから、その姿は写真に残るのみとなりました。これらの植樹が、地球温暖化防止や日米親善の一助になれば嬉しい事ではあります。



▲司令官と植樹式(6月9日)

町長 石塚幸右衛門



人口と世帯

人口	33,770人	(27人減)
男	17,187人	(7人減)
女	16,583人	(20人減)
世帯	14,672世帯	(4世帯減)

6月1日現在
()は前月比

発行/瑞穂町 編集/秘書広報課 毎月1回1日発行
〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地
TEL042(557)0501(代表) FAX042(556)3401(代表)
ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

